



「第8回 国際二次電池展」出展のお知らせ
～LiBH₄系錯体水素化物固体電解質の新規開発品をご紹介～

 三菱ガス化学株式会社

2017年2月20日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、3月1～3日に開催される展示会「第8回 国際二次電池展」にて、LiBH₄系錯体水素化物固体電解質をご紹介いたします。

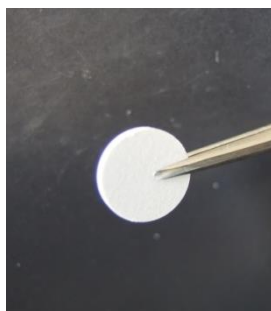
全固体リチウムイオン電池（LiB）は、高容量で安全性に優れた次世代 LiB として、電気自動車（EV）や再生エネルギー貯蔵用途への利用が期待されております。LiBH₄系錯体水素化物は、全固体 LiB 向けの固体電解質として使用が可能です。

本展示会では、昨年開催された第7回 国際二次電池展でご紹介した LiBH₄-LiI 固体電解質等に加え、LiBH₄-P₂I₄ 固体電解質など新規開発品をご紹介いたします。

ご来場の際には、是非当社ブースにお立ち寄りください。

■主な展示製品

LiBH₄系固体電解質



(LiBH₄-P₂S₅ 固体電解質)

※固体 LiB の詳細は<参考>をご覧ください。

■展示会詳細

第8回 国際二次電池展

会期：2017年3月1日（水）～3日（金）

場所：東京ビッグサイト

ブース番号：東5ホール E42-41

WEB サイト：<http://www.batteryjapan.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

新規事業開発部 TEL：03-3283-4913

<参考>

全固体 LiB とは

固体の電解質を用いた、構成部材が全て固体の LiB。

(現行の LiB は、電解液を用いています。)

全固体 LiB のメリット

- ・ 固体のため液漏れせず、安全性が高い。
- ・ 積層により高電圧化が可能であり、容量密度向上につながる。
- ・ 比較的高温での電池動作が可能。

今回ご紹介する LiBH₄系錯体水素化物固体電解質のメリット

- ・ 他の固体電解質に比べ、柔らかく、成形性が高い。
- ・ 有機溶媒に可溶で、塗布、印刷による電極作製が可能。
- ・ 次世代電池の負極材として期待されている金属 Li の表面処理材として利用が可能。

用途例

- ・ EV、PHEV などの環境対応車。
- ・ 再生可能エネルギーの負荷平準化、周波数変動抑制。
- ・ 医療用機器などの高温滅菌処理を行う機器。

以上